学校だより第７号

稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２－３－３
TEL　０４３－２４７－８５００
令和３年１０月７日発行

令和３年度前期を終えて

校長　川﨑　康範

本日をもちまして令和３年度前期が終了しました。やはり新型コロナウイルスのデルタ株という変異種の出現で起きた第５波の急激な感染拡大は、日本中に大きな不安とさらなる忍耐の必要性をもたらしました。学校も多分に漏れず、大きく影響をうけました。緊急事態宣言による修学旅行の延期、授業の短縮、部活動の中止、青葉の森文化ホールを使った合唱コンクールの取りやめ等生徒達が楽しみにしていた行事や部活動の中止、大会延期に追い込まれました。そのような中で、生徒達は「学校の新しい生活様式」に粛々と取り組みました。おかげで大きな問題や事故も起きずに本日を迎えることができました。本当に我慢強い生徒達だと感心するとともに、我々教師は生徒達に助けられた思いです。また、この場をお借りして、改めて感染対策に努力された保護者の皆様にも感謝を申し上げます。

生徒会役員選挙が開催されました

９月２８日（火）に生徒会役員選挙が開催されました。新型コロナウイルス感染対策を考えて、立候補演説及び応援演説を図書室にあるＧＩＧＡタブから各学級の大型テレビへリモート配信で行いました。毎朝、校門で挨拶を交わしている１・２年生が演説をしている姿を見ているとずいぶん成長してくれていることを実感いたしました。今回は例年になく、定員７名の役職に対して１２名が立候補し、全ての役職が競争選挙となりました。選挙の結果選ばれた生徒だけではなく、果敢に挑戦した生徒達も含め３年生からバトンを受けとる１・２年生の意欲が大いに伝わってきました。ただ、「選挙演説で言うことは簡単ですが、そのような学校にすることは難しいですね。」と学校長の話で生徒達に言いました。ぜひ、生徒会本部役員を中心に生徒達の意欲的な活動で、活発な挨拶に溢れ、より良い学校生活を考えて更に良い学校になっていくことを願っています。

選挙演説は原稿を見ずに、自分の言葉で・・・緊張しました。

開票は選挙管理委員２人組でミスがなく確実に！

１年生は、初めての投票

創立４０周年記念で設置されたデジタル放送コントロールシステム

全校のデジタル放送を可能としたコントロール機

４０周年で寄贈していただいたデジタル放送システムが夏季休業中の８月２０日に設置されました。４０年前に開校されて以来のアナログ放送機器で大型テレビ等のデジタル機器と連結するため画像が鮮明でなく、接続も職員の私物の連結コードを使わなければなりませんでした。コロナ禍の中、一堂に集まれない状況が続き、学校の行事も中止が相次ぎました。しかし、リモートでつながる形であれば LIVE 映像で全校生徒が同時につながる方法を取ることができます。夏休み明けから使用が可能となり、さっそく全校集会、部活動報告会、生徒会役員選挙などがリモートで行われ、図書室から鮮明な LIVE 映像が送受信されるようになりました。中止となった青葉の森文化ホールで行われる予定であった合唱コンクールも、このシステムを使って体育館で発表する合唱を他学年の生徒は教室で聴く形で今後実施することが実現できると考えています。できる限り充実した学校生活の実現に有効活用させていただきたいと思います。沢山の協賛金のご協力に感謝しています。本当にありがとうございました。

「新しい学校の生活様式」
ＧＩＧＡタブを使った授業

【 １年生数学：アリゴリズムで試行力アップ 】

「自分の進み具合に合わせて動画を見て作業できます。」

【 家庭科：裁縫の基礎の授業 】

【 保健体育：車いすバスケットボールの授業 】

「キャッチと車イスの操作の二つを同時に行わなければならないので難しいです。」